

産業サイバーセキュリティ研究会 WG1（制度・技術・標準化）工場 SWG（第 7 回）議事要旨

日時 : 令和 6 年 2 月 8 日（木）13 時～14 時 45 分

構成員 :

（座長）江崎 浩	東京大学大学院 情報理工学系研究科教授
市岡 裕嗣	三菱電機株式会社名古屋製作所ソフトウェアシステム部 部長
岩崎 章彦	一般社団法人電子情報技術産業協会 セキュリティ専任部長
榎本 健男	一般社団法人日本工作機械工業会 技術委員会標準化部会電気・安全規格専門委員会委員 （三菱電機株式会社名古屋製作所ドライブシステム部 専任）
桑田 雅彦	日本電気株式会社 プラットフォーム・テクノロジーサービス事業部門セキュリティ事業統括部 IoT/OT セキュリティグループ ディレクタ （Edgexcross・GUTP 合同工場セキュリティ WG リーダー）
斉田 浩一	ファナック株式会社 IT 本部情報システム部四課 課長
佐々木 弘志	フォーティネットジャパン合同会社 OT ビジネス開発部 部長 （IPA ICSCoE 専門委員）
斯波 万恵	株式会社東芝 サイバーセキュリティ技術センター 参事 （ロボット革命イニシアティブ（RRI）産業セキュリティ AG）
高橋 弘宰	トレンドマイクロ株式会社 OT セキュリティ事業部 OT プロダクトマネジメントグループ シニアマネージャー
中野 利彦	株式会社日立製作所 制御プラットフォーム統括本部 セキュリティエバンジェリスト （名古屋工業大学 ものづくり DX 研究所 客員教授）
藤原 剛	DMG MORI Digital 株式会社 制御開発本部コネクティビティー部 副部長
松原 豊	名古屋大学大学院 情報学研究科准教授
村瀬 一郎	技術研究組合制御システムセキュリティセンター 事務局長
渡辺 研司	名古屋工業大学大学院 社会工学専攻教授

議題：

1. 開会
2. スマート工場の取組について
3. 工場システムのセキュリティ普及に関する取組について
4. サイバー攻撃による被害に関する情報共有の促進について
5. ガイドラインの拡充版について
6. ガイドラインの普及啓発について
7. 自由討議
8. 閉会

要旨：

1. スマート工場の取組について

- ・ 資料 3 を日立製作所中野委員より説明
- ・ 資料 4 を中外製薬筒井様より説明

2. 工場システムのセキュリティ普及に関する取組について

- ・ 資料 5 を JNSA 西日本支部岡本様より説明

3. サイバー攻撃による被害に関する情報共有の促進について

- ・ 資料 6 を経済産業省澤田様より説明

4. ガイドラインの拡充版について

- ・ 資料 7 を事務局より説明

5. ガイドラインの普及啓発について

- ・ 資料 8 を事務局より説明

6. 自由討議

(1) 工場システムのセキュリティ普及に関する取組に関するご意見

- ・ 資料 5 の発表について、中小企業に対する取組は重要であり、ワークショップの開催等、素晴らしい活動だと考える。今後も取組を進めてほしい。

(2) ガイドラインの拡充版に関するご意見

- ・ ガイドライン拡充版骨子案ではスマート化の定義について、レベル別に整理されていた。レベル別の記載があるとスマート化が理解しやすいと考える。どの程度データを蓄積しているのか、そのデータが工場の制御にどの程度影響を与えるのか、自律化されているのか、ロボットが現場にあるのか完全遠隔制御なのか等は脅威に繋がるため、レベル別の図があった方が脅威検討のベースになると考える。また、レベル別の図がないと、どのような状況がスマート化なのか明確でなくなってしまう。ただし、レベル別に整理すると上下関係ができてガイドを記載しにくくなる懸念もある。どのようなことがスマート化の 1 つの活動であるのか、横並びの箇条書きで例として示すことも一案と考える。

(3) ガイドラインの普及啓発に関するご質問・ご意見

- ・ 工場セキュリティの普及啓発においては、中小企業への普及が重要である。そのためには業界団体を通じて、あるいは業界団体のメディアを活用する等して、頻度を高めて情報発信や普及啓発活動ができると良い。業界団体の取組も含め計画化し、それを推進・支援していくことも必要である。
- ・ 中小企業に対する普及啓発においては、商工会議所にも協力いただけると効果的と考える。

(以上)